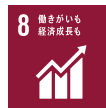


管理者の育成に関する研究



研究概要

キーワード 人材育成 / 現場改善

製造の現場では、lotだけでなく、経営工学的手法の適用によって、改善ができる諸問題が多く存在している。そのため、上記の手法を用いて改善活動に従事する人材が必要とされており、特に今後の製造現場で活躍が囑望される若手の人材の育成は同様に必要とされている。

製造現場において、改善に関連する手法を適用し、現場の改善を図るとともに、改善を全社的に実施する場合の様々な部門との情報のやり取り、根回し、自部門での情報共有といった、情報の展開についても検討することで、改善を組織全体に推進できる人材の育成について検討する。

1. 方法

- ・製造現場担当者と本学学生の協同によって、製造現場の改善を実施する。
- ・改善テーマは製造現場の希望に基づき本学との協議により、決定する。

2. 成果

- ・現場の改善
- ・現場担当者および本学学生の育成

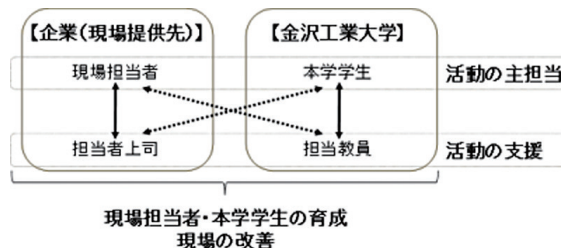


図 本テーマの概念図

今後の展開やメッセージ

製造業と本学との共同研究形式により、現場改善を学んだ学生を製造の現場に派遣し、若手従業員との協同によって、現場改善を図る。若手従業員は、学生から改善に関する知識を得ると同時に、他部門や自部門との協力や学生の指導的な立場を経験することで、管理者として、必要な行動を実践する。

研究者情報



中野 真 准教授・博士(工学)

基礎教育部 修学基礎教育課程
所属研究所：地域共創イノベーション研究所
國學院大學文学部文学科卒。金沢大学大学院自然科学研究科電子情報科学専攻博士課程修了。企業勤務後、本学情報マネジメント研究所研究員、金沢工業高等専門学校グローバル情報工学科講師。2011年本学講師就任。2019年現職。